

# 詩集 夢は遙か彼方へ



飛鳥 圭

# Prologue

---

## Prologue

日常の夢を見た、非日常の夢を見た。

いい夢を見たくなるのは当たり前なのであるが、見る夢を区別出来るって本当だろうか  
いつぞやなのであるが同じ夢を見たことがある。

ここまではいつか見たことがある、今度はその続きを見せてくれるのだろうか  
そんなことを期待して今日こそは、続きを見るぞっと不思議に思うことがある。  
夢は遥か彼方・・・思い通りにはいかないものですね！

でも少しは期待していて、諦めの気持ちの中でもひょっとして実現するといいなあ  
女々しいぞお前はしっかりしろって励ましの言葉を良くいただくのですが！  
とにかく頑張りましょ！！そして常にポジティブに・・・きっと良いことがあります。

2018. 5. 8 飛鳥 圭

# 目次

---

## 目次

\* P r o l o g u e . . . 1

\* もくじ . . . 2

### I

\* 風の彼方へ . . . 3

\* 風が教えてくれるもの . . . 4

\* ふたりの X ' m a s . . . 5

\* あなたの瞳に僕がいる . . . 6

\* 雪の朝 . . . 7

\* 風の詩 . . . 8

\* 風はもうひとつの私 . . . 9

\* 春にむかって . . . 10

\* そして明日 . . . 11

\* あなたの手 . . . 12

. . . . .

\* 野原にて . . . 13

\* 風のしらべ . . . 14

\* 風に吹かれて . . . 15

\* 些細なこと . . . 16

\* 春かぜ . . . 17

\* はじらい . . . 18

\* 風と友達 . . . 19

\* T h o u g h t . . . 20

\* いつもの駅で . . . 21

\* 新しい恋 . . . 22

### II

\* 君の横顔 . . . 23

\* 自転車にのって . . . 24

\* キスをおねだりしたら . . . 25

\* 失恋かな . . . 26

\* 梅の花が咲く頃 . . . 27

\* アイリスの花が咲いた . . . 28

\* いつまでも抱きしめていたい . . . 29

\* 愛しいあなたと . . . 30

\*君といるのが一番いい・・・31

\*風は僕からの愛・・・32

.....

\*好きになってしまった・・・33

\*明日はあした・・・34

\*結婚します・・・35

\*という訳で・・・36

\*天国へ・・・37

\*憧れの女性は・・・38

\*明日は土曜日・・・39

\*初めてのディナー・・・40

\*忘れていません・・・41

\*バラの花・・・42

### III

\*すすきと風と君と・・・43

\*生きているうちに・・・44

\*虹のむこうは・・・45

\*もう走れない・・・46

\*白鳥に姿を変えて・・・47

\*秋の風は・・・48

\*抱擁・・・49

\*懐かしい情景・・・50

\*初恋・・・51

\*立冬・・・52

.....

\*世界でひとりだけ・・・53

\*ありがとう・・・54

\*好きな言葉・・・55

\*風は私です・・・56

\*春風にさそわれて・・・57

\*歳を重ねれば・・・58

\*君のイメージ・・・59

\*フレンツエの湖・・・60

\*いっぱい空気がほしい・・・61

\*なつかしい日々・・・62

### IV

\*秋を感じています・・・63

- \*秋風に乗って・・・64
- \*いつも君のことを・・・65
- \*みんな大好きです・・・66
- \*今の僕は春です・・・67
- \*いい知らせ・・・68
- \*春風はいいなあ・・・69
- \*未来をつなぐ絆・・・70
- \*夢みる頃・・・71
- \*もどってきたよ・・・72
- .....
- \*花の精・・・73
- \*はやく会いたい・・・74
- \*いつまでも・・・75
- \*元気なうちに・・・76
- \*明日はね・・・77
- \*見つめられないこと・・・78
- \*じっと見つめて・・・79
- \*綺麗になった・・・80
- \*雨の日は・・・81
- \*ある朝・・・82

V

- \*ああー愛しい君よ・・・83
- \*k i s sするのはなぜ・・・84
- \*あなたに会って・・・85
- \*土曜出勤・・・86
- \*素敵な時間をありがとう・・・87
- \*紅葉・・・88
- \*初夢は淡い恋・・・89
- \*お元気ですか・・・90
- \*春にむかって・・・91
- \*はる春・爛漫・・・92
- .....
- \*春の声・・・93
- \*いつまでも傍にいて・・・94
- \*初夏の香り・・・95
- \*明日（あした）へ・・・96
- \*花の精と・・・97

\*泣いてくれますか・・・98

\*永久（とわ）に・・・99

\*恋は良薬・・・100

\*花言葉・・・101

\*愛しきこと・・・102

F I N E

\*E p i l o g u e・・・103

僕は今、空想と夢のなかに来ています。  
そうなのです・・・今、不思議な事なのですが風の彼方にいます。

－かぜの彼方へ－

かぜの彼方へ行かれましたか  
・・・とても遠く、ながく長い道のりです  
何十万里・・・いや何百万里！  
でも・・・いろいろなことを教えてくれます  
かぜの彼方に行ってみたい

僕は行ってきました  
凄く速い風に乗っけてもらって  
かぜの彼方へ行く途中・・・  
恋のはなしや、彼方のようす、いろんな  
お店など・・・  
いろいろな話しをしてくれました  
・・・楽しくてやさしい風です

今年は風が主役になって・・・  
たくさんの幸せを運ぶようですよ  
僕の場合はありし日の妻に会える  
ようです  
いつかは教えてくれませんでした  
楽しみになさいと言われました  
その日が来たなら・・・  
かぜの彼方へ会いに行くでしょう

－風が教えてくれるもの－

瞳を閉じれば・・・  
耳をすませば・・・  
・・・風がいろいろなことを教えてくれます  
遠い国の素敵なお話が聞こえてきます  
これから空想の世界へ出かけてきます

雪の国からはお姫様のおめでたいお話し・・・  
片思いが実って憧れの王子と結ばれたそうな  
森の国では一日で緑がいっぱいになったとか  
花の国ではすべての花が咲き乱れたそうな  
良いことばかりもあるのですね？

良いことは・・・人々に幸せを運んでくれます  
風が・・・そっと教えてくれました  
厳しい冬を耐えた人には  
・・・ご褒美があるようです  
明日は・・・すべての希望が叶いそうですよ



いつぞやのことですが、夜に雪の積もる気配は・・・感じるができますよ！！  
家の中のTVの音などが大きくなった感じがして何か家の周囲がシーンとします。  
そして・・・門灯の明かりが輝きを増したようになり、窓が明るく感じます。

うわあー雪だあ！・・・クリスマスイブの夜だと感激ものです。  
まだまだ先のことですが今年こそ・・・体験できるといいですね

－ふたりのX'Mas－

ホワイトクリスマスだといいなあ  
そりの音が聞こえてきませんか  
・・・耳をすましてごらんなさい  
ほら！鈴の音が聞こえませんか  
聞こえてきたでしょう・・・  
ふたりのクリスマスをしましょう  
あなたがサンタ役をしてね  
わたしに・・・素敵な贈り物を下さい  
目をつぶっているから・・・  
・・・あなたからの愛を下さい

僕は風が大好きで、女性との出会い、思い出の場所、その時の状況や感情をいろいろな風といっしょになって poem で表現してきました。

生を受けてから様々な喜び、感動、悲しみ、状況によっては・・・死を考えるようなこともある

でしょう！・・・何かに熱中！没頭！することは、雑念が消え去って心穏やかになりませんか？

私たちには忘れてはいけないことがたくさんありますが、その中でも大切なことは人を愛することでしょう。・・・心が春になり、すがすがしい思いが伝わってきます。

誰もが一度は通ったであろう青春と言う名の思い出の道を・・・再び歩いてみるのもいいのではないかと思っています。

—あなたの瞳に僕がいる—

あなたの瞳に僕が映っている

・・・あなたの瞳が輝いている

僕の瞳もあなたの中で輝いている

・・・想いが届いたのですね

瞳が動いている

・・・僕の瞳も動いている

僕の瞳の中にもあなたがいるのですね

・・・二つの瞳がかさなりました

いまから・・・愛がはじまるのですね

ああー？恋しきむかし

忘れ得ぬ人々・・・

去りし日々が走馬灯のように駆け巡り、大きなうねりとなって現実と過去の狭間の中を動きだす。

こうなれば、今までの思考が止り宇宙空間をさまよっているような放心状態になってしまうのです。

時間にして数分であろうか！時代の波のなかに私はいる・・・確かに！！

過去の発表作品ですが季節が早く来てしまってすみません。

—雪の朝—

恋人らしき・・・

足あとふたつ

そのあとに続く

あなたと私の足あと

肩を寄せ合い

楽しい白い語らい

・・・前に続く

足あとと同じになり

二人して微笑む雪の朝

第1作（憧れと愛を求めて）、第2作（風と愛と君と：1994年3月発行）から早やうん十年を過ぎてしまいました。

周囲の方々から、第3集の発行についての活動状況また、発刊の時期の問合せが寄せられました。紙の本は費用の持ち出しが必要で、電子書籍に挑戦してみるのも良いのではないかと考えた訳です。・・・夏に作った作品ですがご紹介します。

－風の詩－

初夏の風は新緑を含んでいて  
さわやかで好きです  
薄地で長袖のボタンダウンのシャツが  
風にそよいで・・・  
ほっぺには甘い香りを伝えてくれます  
風からのメッセージがあるのも  
楽しいですよ・・・R a r a r a  
すてきな出会いがありましたか！  
素敵な恋が始まりますよ・・・  
正直に告白しちゃいましょう・・・  
初夏の風はこころまで  
愉快にするのです・・・ラ ラ ラ

私のうん十年前はと考えると、夢多き、シャイな青年であった。  
恐いもの知らずで、サッカーやロッククライミング等好きなことに熱中していた頃だと思う。  
また、宗教に縁もなく、死を考えたこともなかった。

今までにいろいろな職業をもった方々との出会い、特に親友や恋人は、私にとっては家族と同様に、忘れ得ぬ人々でしょう。

生を受けた以上、悲しいことの一つや二つは誰もがもっている。

悲しいとき・・・愛する人との永遠の別れは時が解決してくれるかも知れないが、心が落ち着ける何かを必要とするものです。

音楽であったり、スポーツであったり・・・私の場合は夢の中を彷徨いながら！！

現実にあった過去に立ち止まったり、空想のなかで遊びながら・・・詩を書いていた。

－風はもうひとつの私－

悲しいときは泣こう

うれしいときは笑おう

腹の立つときは怒ろう

・・・感情を抑制せずに

ありのままに・・・

風の吹くように・・・自然のままに

心豊かなときは・・・冷たい風も温かく

心淋しいときは・・・冷たい風はさらに冷たく

おなじ風なら・・・心ゆたかでありたいもの

心で喜べる風と遊ぼう・・・！！

明日はいいことがあります。

詩の世界においては、ひとつの空間をさまようようなものが存在すると私は考えている。  
空想の世界である。

不可能を可能にする力、夢を現実にする力（夢のままかも知れないが！笑い）

人間の思考は無限であり、子供達の詩においては、とてつもない物が登場したり、ありえない世界が目の前に現われ、その発想に驚かされることが、たびたびある。

大人では考えつかない想像力という能力である。

聖書の中でイエスキリストが行った数々の行為が、子供達の世界では常に存在している  
のである。

残念なことであるが、大人になると現実離れしていることは、ついつい否定してしまう。  
私たちも、いつまでも子供の心を持っていたいものである。

—春にむかって—

春にむかって

あなたへの想いを暖めています

冬の風は

あなたとの愛を育んでくれる

そして

暖かい春の風が

菜の花の香りを運ぶ頃になると

あなたとの恋を

夢見ってしまうのです

今日があるように・・・明日があります。

明日は今日よりも一歩でも前に進んでいることでしょう

ロッククライミングをするように一歩踏み出してみましょ

一日一日が無意味に過ぎ去ってゆくこともあるでしょう

けれども今日の糧が、明日の栄養となって私たちを成長させてくれます

何かを始めることに意味があるのではないのでしょうか

－そして明日－

10年後に再会しようと

・・・約束したよね

覚えていますか・・・私のこと

あれから、もう10年がきました

いまでも・・・

あの頃と気持ちは変わっていません

そして明日・・・

あなたに会えるのですね

あの頃の・・・語らいが

あなたの笑顔が浮かんできます

いま・・・あなたに会いに行きます

街角のある喫茶店で・・・おつりをいただくときです。レジの女性の手が私の手を包んでくれたのです。

・・・落とさないよう気を配ってくれたのでしょうか！

昔の遠い記憶の中から・・・あなたの手の温もりが伝わってきました。

—あなたの手—

あなたの手を初めてにぎった

柔らかくって・・・

ほんのりとした暖かさが

・・・伝わってきます

寒くって冷たい季節なのに

やさしい心が

私の胸のなかに届きました



僕は過去に戻って・・・空想の世界に彷徨うことがよくあります。  
未来や明日のことは大切ですが、忘れ得ぬシーンは過去にもどらないと探す  
ことが出来ません。  
過去に立ち止まることで、当然思い出したくない悲しい別れもある訳ですが  
僕の場合はpositiveに考えることにしました。

過去と遊ぶための僕なりの方法です。  
楽しい出来事や心が通う場面が鮮明に現れてあの時、その時のシーンが創造  
の世界として広がってゆくのです。

－野原にて－

名前も知らない・・・  
黄色い野花が咲いている  
・・・堤の野原にきています  
君とふたりっきり  
二人の想いは同じ  
・・・言葉もいらない

胸のポケットに・・・  
黄色い花を挿してあげました  
・・・僕からのプレゼントです  
君は髪を後ろに束ねて・・・  
微笑んでくれました  
・・・君を愛してよかった

モーツァルト「生誕262年」になりますが、ほんとクラシック音楽っていいものです。好きな人たちにはたまらないモーツァルト！！

モーツァルトが好きな理由ですか？

モーツァルトが好きだけではだめですか、音楽の力には勝てませんとは、あるノーベル物理学者の言葉ですが！

風の調べ・・・なつかしい！

あなたの歌声が聞こえてきます。

あなたの想いが伝わってきます。

友人から、いつまでもこんな事してえ～長生きするわあ！

－風のしらべ－

あなたの好きなメロディーが

・・・風によって

私のもとに届きました

風が私への想いを伝えるように

あなたへの想いも

・・・風が伝えてくれます

あなたから愛されたい想いが

風のしらべとなって

私のもとに届くのです

そして・・・私からの想いも

あなたのもとに届きます

昔の事ですが、すすきの高原にて風に吹かれてきました。  
すすきが風に そよいで・・・語りかけてくるのです！  
信じられませんが・・・不思議なことです。  
またまたあ？空想の世界で遊ばないでネ・・・と言われそうですね！

－風に吹かれて－

すすきとたわむれているあなた  
晩秋の日暮れに・・・  
すすきが風にそよいで  
あなたに語りかけています  
この風にのって・・・  
夢の国へゆきませんか

まもなく夕陽がしずみますよ  
明るい今のうちに・・・  
彼のもとへもどりましょ  
好きな彼が待っていますよ  
私がお供します・・・  
さあ一行きましようか

冬の風は何故かさびしい気分になりませんか・・・！！  
そんな時は風とお話してみましょ・・・素敵なメッセージが聞こえてきますよ  
こんなことばかり考えているのですが・・・いけませんか？  
ありふれた些細なことが・・・幸せなのですよ！

—些細なこと—

映画を観るのもいいでしょうが  
郊外に足を運んでみました  
・・・外は寒いですよ  
そっとコートをかけてあげました

ポーズをとって・・・パチリ  
君が微笑みを返してくれました  
こんな些細なことでも  
二人にとっては楽しいのです  
・・・寒い一日の出来事です

菜の花畑に入日うすれ♪見わたす山の端かすみ深し♪  
・・・おぼろ月夜の歌詞ですが、口ずさんでいると・・・春はもうそこまで  
来ているような気がします！

私の気持ちは・・・春風にのってあなたのもとに飛んでゆきたいです。

－春かぜ－

春風は心を和ませ  
春風は蝶のように  
・・・空を舞い  
恋の予感を運んできます  
そして囁き・・・  
恋人たちを幸せに導きます

時には春一番となって  
怒るときもありますが・・・  
厳しい冬を耐えた人には  
とっっても・・・やさしいのです  
さあ－春かぜと一緒に  
・・・歩いて見ませんか

形で何かを残したい・・・。

最近、書籍（本）などを出版する方が増えているように思います。

出版物による自己表現に勝るものはありませんが、今の時代を反映した手法によって表現できる様々なものがあります。

・・・この意味で電子書籍もひとつの手段と言えるでしょう！

そして今はしていない人がいないほどBlogもSNSの一つとしての役割も不動のものになっています。

ブログに投稿した記事が原稿として本の出版も可能となります。

－はじらい－

突然・・・おでこにキスをした

僕の仕草に・・・

あなたは微笑んで

うつむいてしまった

ささやくような声で

もう一度・・・

はじめからネ・・・と

じっとみつめて君が言った

・・・夢の中のふたりです

風と友達になろう・・・

風は僕からの無言の愛・・・愛しいあなたへ・・・そっと私の心を  
伝えます。

あなたに出会って・・・あなたを好きになってよかった・・・。

－風と友達－

風がそっと近寄ってきて  
頬にキスをする・・・  
初秋の風はなぜか切なくて  
ひとが恋しくなってくる  
・・・でも風が僕の思いを運んで  
あなたに伝えてくれるのです

風は僕と友達・・・  
冬の初めにはあなたのもとに  
・・・帰ると伝えてください  
あなたの好きな首飾りと  
僕からの愛をもってかえります  
それまで待っていて下さい・・・

怒ってないのに怒ったような仕草をすることってありませんでしたか！  
なぜ怒ってるんだろう？

自分では何故か分からないため・・・誰かに助けを求めるようなことは  
なかったですか？

遠い昔の・・・初恋の頃でしょうか！・・・かすかな記憶があります。  
今では、ほのぼのとした思い出になっています。

あなたへの想いが募って会いに行ったのにつれない素振りをされ・・・  
なぜか悲しくなってきました。

あなたの演技とも知らずに・・・でもそんなあなたが好きなのです。

— 想い —

Thought・・・

あなたが好きで・・・

ここまできたのに

何故かあなたは・・・怒ってる

私が悪いのですか

教えて下さい・・・

Thought・・・

好きな風と一緒にです

あなたの気持ちを・・・知りたくって

私・・・待っています

風にそっと伝えて下さい

あなたが好きだから



いつもの駅で、どきーん・・・と気にかかる人に出会うことがあります。  
前のシートに座っている女性と視線が合い・・・チョット気になります。  
険しい顔でなく・・・優しい感じで、少し微笑んでいる感じがしました。

なかなか・・・雰囲気的に・・・いいじゃない？  
乗る車両も同じ・・・？通勤もなかなか！すてたものではないですよネ  
仕事の疲れも・・・いやされます。・・・Aaーこれが恋なのですね！  
僕の場合は、こんなときに・・・詩がよく浮かんできます！

－いつもの駅で－

いつもの駅で・・・いつも会う君  
・・・ジーンズに白のブラウス  
黒のセーターに白のーフコート  
赤色のマフラーが良く似合う  
・・・手提げのバックを腕に掛け  
改札を颯爽と過ぎてゆく

スニーカーの音が弾んで  
心地よく僕の耳に聞こえてくる  
今からお仕事ですか？  
ええ！あなたもお早いですね？  
・・・君の笑顔が返ってくる  
素敵な朝のはじまりです

過去の出来事ですが・・・その時の気持ちをそっと  
伝えます。

愛しい人を失ってから・・・何もする気がしない。  
もう数ヶ月たつのに・・・いつまでもショックから立ち  
直れない。・・・時が解決してくれる！

そんなことはない・・・今もうじうじしているのです。

・・・でも何かのきっかけでよく似た人に出会うと  
心ときめき、元気がでてくることはありませんか！

やはり、外にでて気分転換しなくちゃダメでしょうネ  
男性も女性もゴマン？といるのですから

—新しい恋—

沈んだ心で・・・

久し振りに街にでかけた

色とりどりのファッションが

・・・心を和ませ

別れがなぜか・・・

遠い昔のようです

カフェでの好きな珈琲の香りと

音楽が気分をうきうきさせてくれる

思い悩むのは

・・・今日でおわりです

さあ—新しい恋を・・・

見つけに行きましょう

二人で一緒に出勤した時のことです。

席を求めて・・・急いで電車に乗ったのはいいのですが！

素早い方がいらして寸前で席をとられ、その様子を見ていた彼女に笑われてしまいました。

彼女と同じ・・・立ったまま目的地まで行くことになりましたが・・・さてさて詩作の出来映えは？

何はともあれ・・・こんな詩になっちゃいました

－君の横顔－

眠そうに車窓を  
・・・見つめている  
ひと駅過ぎた頃から  
吊革を握ったまま  
・・・瞳を閉じた

ふたりして  
朝の電車に乗るのは初めて  
少しおすましして  
・・・クールな感じが  
少女ぽくって可愛い

僕が気に入っている  
とても好きなところです

寒い季節・・・春はそこまで来ていますが、今思うことは、露天風呂で  
ゆっくりと浸っていたい！

ひっそりとして・・・静かに時間が流れていく。

現状では夢の世界でしょう！

しかし、このようなことを思い巡らして詩を書くのもいいのではない  
でしょうか！・・・暗いですか？

でも、日常とのギャップが明日のエネルギーになることもあるのですヨ！

—自転車に乗って—

バスのなくなった駅から  
・・・君の自宅まで  
自転車でふたり乗り・・・  
君は僕の体につかまって  
スラックス姿の男乗り  
僕の背に君のぬくもりが  
・・・伝わってくる

愛しい君と冬の風と・・・  
ありふれた出来事なのに  
とても楽しく  
君を誰にも・・・  
渡したくないと思う

大好きな人にキスをするって・・・いけませんか？  
愛していることを伝える・・・無言の表現ですが  
言葉で表現するよりは・・・より効果的だと思うのですが！  
言葉だと・・・どうしても照れくさいではないですか  
・・・という訳で次のようなポエムとなりました。  
A a・・・残念、彼女の一本勝ちということで  
無理強いをすればセクハラ事件になるかも知れないです。  
T O K I O？事件の様にネ・・・皆さんもご用心ください。  
でもキスしていい？抱きしめていい？  
・・・っていちいち断らないよね？未成年者にはご用心！

ーキスをおねだりしたらー

キスをおねだりしたら  
風邪がうつるからって  
断られてしまった

代わりに抱きしめたら  
愛しかったX'm a sの  
あの日がよみがえってくる

キスは君が好きで好きで  
たまらない時の僕の気持ち・・・  
早く元気になって下さい

あなたは本気で愛することを教えてくれました。出会いから6ヶ月でもこの歳になると何年もの重みがある。

・・・僕も男、泣き言は言わないで、愛する君の幸せを考えなくては  
出会いは別れの始まり、一人で生まれたのだから死ぬときも一人

うーん・・・！！

失恋はやはり大きなショックです。

－失恋かな－

私にとっては死より怖いこと

それは・・・

愛するあなたを失うことである

失恋・・・

この世に

神も仏もないのかとってしまう

私にはあなたから

愛される資格がなかったこと

私にはあなたの心が

分からなかったこと

・・・すべて私が悪いのです

桜の便りが届く日々ですが私の家の庭では・・・やっと梅の蕾が開いたばかり  
花びらが咲く時期からして最初は桜と勘違いして・・・  
実がなって始めて解った。梅の木だったんだ！（笑い）何はともあれ、一年一年  
花の咲くのを楽しみにしているのです。

—梅の花が咲く頃—

梅の花が咲いた  
あなたの植えた苗が  
大きく育ったよ・・・  
花びらが散る年毎に  
子供達も大きくなった

花が咲く頃になると  
あなたが花の精となって  
ここに帰ってくるのですね

花の散るたびに  
あなたとの思い出が  
よみがえってきます

来年も花の精となって  
私のところへ・・・  
帰ってきてください

－アイリスの花が咲いた－

君からいただいた花瓶に  
紅色のグラジオラスの  
花が咲いた・・・  
君のドレスに似て可愛い

アイリスの花が咲いた  
花びらは君の唇に似て  
そっと・・・  
くちづけしたら  
おやすみのキスの香りがした



なぜか知らないけれど・・・どちらともなく抱き合ってしまった  
あなたの華奢な体が私の腕の中にすっぽりと包まれてしまう

胸の鼓動が私の心に響いて・・・語りかけているようです  
愛の時間が静かに流れていく・・・満ち足りた幸せが二人を  
包んでいく・・・これが愛なのですネ

夢であれば・・・覚めないで欲しい！  
春が来ればこんな夢を見てもいいですよ・・・ネ  
いつまでも夢の中をさまよっていないで・・・バスタブを洗うのを  
手伝ってよ（笑い）

—いつまでも抱きしめていたい—

ガーベラの花が咲いた  
踊っている君のドレスが  
まわっているようだ

君のそばにいて  
いつまでも  
抱きしめていたいほどに  
・・・君が大好き

クリスマスイブにホテルをチェックインし、あらかじめ予約していた  
イタリア料理店へ出かけました。

・・・こうしてディナーに出かけるのも久しぶり！  
恋人と違っていいですか！・・・なんてこと言ったりして！  
プレゼントも交換して・・・いよいよ佳境に！！

－愛しいあなたと－

君が好きだから  
いつも君のことばかり考えてしまう  
そして  
君をいつまでも守り続けていたい

僕は今、地にいる新しい君を愛しています  
君の心と手をつないで  
明日に向かって歩いて行けますように  
僕たちが結ばれて  
一緒になってよかったと喜べますように

君と僕のために  
X'm a s のこの日にお祈りします

好きな人ができると・・・毎日が何故か楽しくなってきます。  
週に一度は待ち合わせて食事し、ショッピング・・・  
毎日でも会っていたい！

でも・・・接しすぎず、離れすぎずが一番ですが！  
いつでもいつまでも・・・フレッシュな気持ちの方がいいのでは  
ないでしょうか？

・・・ときめき方が違いますヨ（笑い）  
やはり・・・毎日会いたいですよネ、ほんとは！

ー君といるのが一番いいー

あなたといつも一緒にいたい  
この気持ちを大切にしたいのです

あなたに出会って・・・  
あなたを好きになってよかった  
あなたに愛を感じる時は・・・  
いつもときめいているのです

詩作するときに・・・なぜこんなポエムに？  
話せば長い話に・・・いいえ・・・比較的単純なことで  
思いつくのです  
まあ、コンディションのこともあります・・・  
調子がよければ・・・直ぐに空想の中をさまよえるのです  
なんて・・・こんなのもポエム？というのがありますが！  
ではお先に・・・空想の世界へ行ってきます！

－風は僕からの愛－

風は僕からの愛・・・  
愛しいあなたへ  
そっと私の心を伝えます

誰もが一度は通ったであろう  
青春と言う名の想いで道を  
君とふたりで歩いてみたいのです

僕の誕生日を記念して  
今、一番大好きで大切な女性  
君に・・・感謝の気持ちと  
僕からの愛の詩を贈ります

好きなあなたが遊びにきました・・・

近くの名所までドライブです 車からの景色は一面がコスモス一色  
ピンクの花びらが二人を迎えてくれます。

天守閣の石畳にコオロギがスキップしています。

あなたはコオロギを捕まえようとして追っかけています。

—好きになってしまった—

コオロギを見つけては

あとを追い・・・

捕まえようとする君

少女のような仕草・・・

童心にかえった君

いつもの振る舞いと違って

・・・とても可愛い

そんな君が好きで・・・

抱きしめたくてたまらない

ある城下町での

君との一日・・・

僕も少年になってしまった

休日なのに今日は仕事です。駅前にあるパン工房・・・  
好きなパンをバケットに入れ、カウンター席でホット珈琲等ドリンクを  
いただけます。

最近、パンを製造しているパン屋さんでも喫茶風のスペース  
を設けているショップを良く見かけます。  
女性店員の方々の笑顔が素敵であれば・・・やはり素敵なお一日  
となります。気持ちよく働くには朝から癒やされるところで朝食  
をしたいですね！

休日の嫌な仕事でも明るく接客されると朝から気持ちよく働けます！

ここで働く女性達も嫌なこともある筈ですが・・・さすがプロです。  
接客のマニュアル通りであるのかも知れませんが、自然な感じで  
接して貰うと嬉しくなります。

今日は嫌な仕事でしたが・・・休日の仕事も少しは好きになりました。  
・・・感謝の意味を込めて詩作してみましたがいマイチかな（笑い）

—明日はあした—

今日の嫌なことは  
明日も嫌なこと  
でも嫌なことを  
今日から好きになると  
明日も好きになります

嫌な悪い面ばかり見ていると  
ほんとに嫌いになってしまいます  
良い面ばかりを見ていると  
嫌いなことも好きになる

気持ちを変えて  
明日はあした・・・  
未来は好きなこと  
いいことばかりです

円満とは夫唱婦随・・・その逆もいい。互いに理解しあい  
そして相手を思いやることなりや。

独りでは貯金もできなかったのに・・・何故か貯金もできる。  
一人では食べていけなくても、二人なら食べていけるもの  
・・・昔の話ですがよく母から聞かされたような気がします。

一人だと無駄が多いと言うことでしょうか！

家庭を支えてくれる女性がいること・・・結婚とはそれだけ  
ではありませんが・・・良いことは二人で共有し、悪いことは  
二人で分かち合えればストレスも半分になるでしょう

実は長男が結婚します！

－結婚します－

慰め合い

励まし合い

助け合い

思いやり

そして愛し合い

仲よき二人・・・

仲よき夫婦かな

暑い季節がやってきました。

他所のところは分かりませんが・・・こちらでは氷の旗が  
ひらめいているところがありました。

まだチョット早い気がします、かき氷もいいですね！

汗をかいた時にでもよって見ようと思います。

アルコール好きな方はやはりビアガーデンでしょうか

下戸になってしまった私は・・・宇治金が似合っている  
ようです。

ポエムにはならない詩になってしまいましたが（笑い）

－という訳で－

午前6時を少し過ぎた頃・・・

あっ・・・わんちゃんの散歩に

・・・若い女性が！

すれ違うときに・・・

朝の挨拶をいただきました

可愛い女性でしたので

胸にハートマークが点灯しました

こんなこともあるのですネ

・・・という訳で

今日もいい一日が始まりました

Ahーこれからも毎日

・・・散歩してくれないかなあ



死ぬって・・・どうしても苦しむイメージがあります。  
楽に死ねたら・・・いつ死んでもいい！  
かねがね若死にができたらいいなあーと考えた  
ことがありました。（笑い）  
・・・でも歳は秘密として、この  
歳になってみると・・・70歳ぐらいまでは生きていたい  
と思っていますのです。  
成れの果て・・・と言われる前に命を召されれば  
本望！・・・です。（笑い）  
実はお墓の準備ができていますのです。  
最近はスポーツをしても直ぐに息があがってしまう。  
喘息の病があるにしても・・・なんて情ないことに。

－天国へ－

思い残すことがなくなれば  
しかし・・・思い残すこと  
が多すぎるのです  
借金・・・  
最後の恋・・・  
大した家ではないけれど  
・・・一戸建ての家  
故郷のマンション  
賃貸してるマンション

これらを清算して  
終の棲家・・・を探そう  
・・・と考えていますのです

でも、そろそろ妻のいる天国を  
訪ねてみるのもいいのかな  
長いこと待たせているのだから

裁縫は癒やしの一つ・・・楽しいって言う女性は好きだし、憧れてしまいます。

実は、男もミシンぐらいは使えないと思って結構高いミシンを買ったまではいいのですが・・・これがなかなか難しいのです。男性でも服飾デザイナー、紳士服のテイラーのようなプロは朝飯前でしょうけれど・・・！！

残念ながら仕事が忙しいことを理由にして・・・現在は実家でお蔵入り。何てもったいないことに・・・なっているのです。

数年前のことですが妻のミシンが動かなくなって・・・修理できれば直して裁縫もいかなあ・・・と思ったのです。

男性の方も最近ミシンを使ってみたいという方が増えていますよ・・・なんて言われて！その気になって

でも・・・このところ時間的な余裕ができ、また挑戦してみようと考えているのです。

再婚するときは・・・条件のひとつに加えちゃったりして！

・・・何かバカみたい（笑い）

次のポエムは・・・これは詩じゃねーよ・・・ですネ

—憧れの女性は—

男性の仕事をしている

姿って素敵！

なんて言って貰ったりして・・・

女性の裁縫している姿も

なかなかのものですよ

なんて言ってあげたり・・・

こんな他愛のない会話も

歳を重ねたってことかなあ？

でも本当のことだから

可愛いくって裁縫のできる

女性・・・好きです

・・・何処かにいい女性

いないかなあ

週休2日・・・休みでなく仕事の人たちにはお疲れ様です、頑張ってください。  
私のところの会社もご多分にもれず、大体は週休2日制ですので、金曜日の  
仕事が終わる時間に近づいてくると何故かソワソワしてきます。

そんな訳で金曜日になると夜遅くまで起きてしまい・・・気分的にもゆっくり  
とした時が流れます。

そして1週間の疲れもあって土曜日の起床は昼過ぎとなることも・・・なんて  
テイタラクな日常に・・・なりつつあります。

やはり何時もの時間には起床して規則正しい生活が必要なんです！

－明日は土曜日－

夕食でも食べに行かない！  
週末ともなると外食もいいかな  
ディナーはイタリア料理にしょっか  
久し振りに二人の意見も合い  
いつものコース料理に・・・

夜景の見える最高の席に案内され  
ちょっとした・・・リッチなひと時  
よかったね・・・いい席で  
会話も素敵に決まります

ウェイトレスの方から一品一品  
運んでいただく度に  
メニューのコメントをいただいて  
わあー美味しそう・・・なんて  
互いに頷きあって  
明日は土曜日・・・  
このような日は  
毎週あってもいいと思う

北欧料理を食べに行ったときです。あらかじめ予約をしてホテルのロビーで待ち合わせ。

彼女の姿が見えないため・・・僕は最上階のレストランで待っているかも知れないと思ってエレベータに乗って確認に・・・

来ていない様子なのでロビーへUターン・・・彼女の笑顔を見つけて、まずはひと安心です。

彼女いわく・・・すれ違ってはいけないと思い、少し遅れたけどロビーで待っていたとのこと。

さすがに・・・賢くて可愛い女性です。  
秋は人恋しくなりません！Aさんといると何か落ち着けるの・・・なんて嬉しいことを言っていただきました。（ジーン）

食事前なのに感激しちゃって・・・胸がいっぱいになってしまいました。レストランも気が利いていて・・・星空の見える窓際の席に案内して下さいました。かさねがさね・・・最高の一日です。  
・・・こんな思い出は大事にしたいですネ！

#### －初めてのディナー－

君との初めてのディナーは  
北欧料理のバイキング形式・・・  
好きなものをチョイスして  
これ！なかなか美味しいよ・・・

私もってこよう  
座って初めて見る君の後ろ姿・・・  
料理をお皿によそう仕草・・・  
フレアスカートが歩くたびに揺れて  
・・・見ていると何故か  
楽しい気分にしてくれる

好きな女性と・・・  
こうして外で食事するのも  
素敵なことです

わたし以前に可愛がっていただいた者ですが、昔のことなのでお忘れになっているかも・・・私もおばさんになってしまって！

突然にお手紙をいただきました。・・・忘れていませんよ  
今でも好きな人ですから、成り行きで・・・いろいろな事情があって疎遠になってしまった訳ですが、これもご縁でしょうか！

良い思い出を持つっていいものです。・・・あの頃は楽しかった。  
あなたも可愛く素敵だったし、今もそうでしょうけど！

－忘れていません－

Tシャツの上からはサテン地の  
シルバーカラーのワンピース・・・  
ジーンズは裾を折って・・・  
素足に白のスニーカーが似合っている

ワンピースの裾が時折、風にそよいで  
ロングヘアの髪も風になびいている  
・・・少し気になる彼女です

質素ないでたちなのに・・・  
なかなかセンスがいい  
顔立ちがそうさせるのでしょう  
何を着ても似合う女性って  
・・・時々いるでしょ

好みの問題ですが・・・  
ジロジロ見るわけにはゆきませんが  
素敵な女性に出会えるって  
・・・シアワセ！

庭にバラが咲きました。

植えた記憶はなく、自生したものらしい！

白い花びらがひと際大きくて・・・じっと見つめられているようです。

少年の頃、好きな子に大きな瞳で見つめられ、顔が熱って！

まっすぐ女の子の顔が見れず俯いてしまった記憶がありますが

大人になってしまうとチョット気恥ずかしい

・・・何か変な気持ちです。

ーバラの花ー

白い大きなバラ

花びらを見ていると

少年の頃を思い出してしまう

茎にあるトゲは

・・・形のいい三角形

たくさんのピラミッドのよう

バラの花を摘み取って

花瓶に挿してみたら

じっと私を見て

コンニチワとお辞儀をした

奥香落溪！奈良県境にある”すすき”の景色がきれいで、チョット有名なところへ好きな女性と一緒に出掛けました。

子供の頃にかえってどちらともなく？・・・手をつないで僕の方から先に手を差し出したかも知れませんが・・・街中では照れくさいですが、自然の中ではやはり自然な成り行きになってしまって・・・いいものです。

標高は低いですが山の頂上まで手をつないだまま上ってきました。初冬の風が頬に優しく二人を包んでくれました。

—すすきと風と君と—

雨あがりの奥香落溪  
手を取りあって  
すすきの間を通り抜けてゆく

初冬の風が  
すすきと戯れて・・・  
その中に君と僕がいる

すすきと風と君と  
自然のなかで・・・  
ふたりの愛を  
見つけているのです

男性でもロングヘアにして髪を後ろに束ねている方がいらっしゃいますがイメージ的にはミュージシャン、画家、陶芸家など芸術家のような！風体でしょか・・・なかなかいいものです。

生きている間に・・・一度は僕も挑戦してみたいと思います。

しかし、サラリーマンが職業ではなかなか出来るものではありません。

また リストラの対象になりかねません。

・・・いろいろな雑音があるかも知れませんが、ヘアスタイルが仕事をする訳でなし、まあ！いいか

－生きているうちに－

生きているうちに

好きなことをしてみよう

お気に入りのファッション

お気に入りのヘアスタイル

髪の毛が薄くなっては

・・・出来ないし

髪があるうちに

ロングヘアもいい

生きている今こそ

好きなことをしてみよう

好きなことができるって

・・・幸せがやってきますよ



朝の6時・・・

早朝に虹を見るのは初めてのこと  
虹のむこうには何があるのでしょ  
めったに見れるものではなく・・・  
何故か心まですがすがしくなります。  
今日は何か良いことがありそうです。

—虹のむこうは—

虹に向かって歩いてく

虹のむこうは・・・

幸せがいっぱい！

一緒に・・・虹をわたりませんか

僕が先にわたりましょう

あなたもあとからついて来てください

ねえ・・・別世界でしょ

ねえねえ・・・楽園みたいでしょ

みんなに教えてあげましょうよ

アレルギー性の喘息を発症し・・・体動時に呼吸が苦しく  
息切れしやすい状態がなかなか改善されない。  
発病時は薬がよく効き、走れるまで回復し、今までの息苦しさが  
不思議なほどでしたが・・・現在では薬を服用しても発病時の  
症状が続いている。・・・もう走れない。

今は健康でも・・・一寸先は闇とはよく言ったもので、突然に  
病気に罹ってしまった不幸を悔やんでもしかたがないことなのです。  
思うことは・・・健康であることが一番の幸せでしょうか！  
こんな世の中だからこそ健康管理に特別な注意が必要でしょうネ

-もう走れない-

サッカーグラウンド・・・

思い切り走って

ボールを蹴る

体育館・・・

ラケットを握り

スマッシュする

ボールを追いかける

過去の出来事が

・・・懐かしくなる

あー

走ることができないのか

もう走れない自分がある

義父の話ですが・・・管理をしている水門に全長140cmの白鳥が現れ、近付いてもじっとして首を撫でてあげたそうです。、わしは小屋に行くのでおまえも帰れよと言って、水門のところに戻ってみると白鳥は姿を消していたそうです。

あれは娘が姿を変えて帰ってきたに相違ないとのことでした。

お墓を建立してからの出来事らしく、不思議なことです。人が近づくだけでも逃げてしまうのに、首まで撫でることができたこと事態大変なことです。信じられないことですが、亡き妻が本当に姿を変えて帰ってきたのかも知れません。・・・メルヘンのような話です。

—白鳥に姿を変えて—

白鳥がやってきた

あなたが白鳥の姿になって

帰ってきたのですね

みんな元気にはしていますか・・・

子どもたちも

大きくなったでしょう

私はあなた達を

いつまでもいつまでも

見守っているから・・・

私の分まで長生きしてね

そう言って

白鳥は飛び去っていきました

やっと涼しくなってきました。

秋雨も心地よく緑の木々までが生き生きとしています。

窓を開け放っていると夏の服装では寒いぐらいですが・・・

・・・残暑がきびしく暑かったですネ

夏が大好きな人も今年の暑さは堪えたでしょう

—秋の風は—

秋の風はやさしく

火照った体を

鎮めてくれる

あなたが

労わってくれるように

・・・僕の体も

元気になった

秋の風は楽しく

いろいろな恋を

運んでくれる

でも何故か淋しいのです

きっと僕の心を

知っているのですね

遠い過去のことですが・・・近鉄の名古屋駅のホームで好きな女性を抱きしめたことがありました。

見送りに来て下さったのですが、別れなければならぬ時間が刻々と近づいてきて・・・特急電車がホームに到着しました。

・・・多くの人が電車に乗ろうとしています。

これでまた会う日まで・・・会えないと思うと・・・これが最後になるかも知れないのではないかと不安になり、お互いに抱き合ったのです。

こんな経験は初めてですが、若い男女が抱き合う気持ちが少しは分かるような気がします。

告白してもいいんですか？もう時効ですから・・・いいですよネ

－抱擁－

昼下がりのある駅のホームで  
別れ際に抱き合ってしまった  
いつ逢えるか分からない気持ちが  
そうさせてしまった

お互いに・・・何の抵抗もなく  
また不思議と恥ずかしくもなく  
・・・次に逢える日まで  
あなたの温かさを・・・  
覚えていたいために

何処の街も高層マンション等の建物が立ち並び昭和30年代の街並みが少なくなっていますが一部では結構古い町並みが今も残っています。

少年期に育った町並みは瞳を閉じれば今も鮮明に記憶の中から甦ってきます。

木の電柱はコンクリート製にはなっていますが、鬼ごっこの時の陣地として目印にした記憶があります。

丸いちゃぶ台は今使われていませんがレトロ志向が高まっている昨今は人気のアイテムの一つです。

家族全員が輪になって夕食をともにしご飯用のおひつも懐かしいアイテムです。家族揃って食事をするのが少なくなった現在・・・昔の情景には憧れてしまいます。

現実には映画やドラマの世界でしか登場しませんが・・・何故か落ち着き癒やされます。

－懐かしい情景－

トントンとドアを叩くと  
過去の扉が開かれ  
少年の頃の記憶が  
甦ってきます

ドアは開いているよ  
入ってらっしゃい  
ちゃぶ台におやつがあるから  
食べて待ってて  
奥の部屋から母の声が  
聞こえてきます

そして・・・

トントンとドアを叩くと  
また違った情景が  
・・・甦ってくるのです  
また・・・

トントンとドアを叩いてみる

小学校の高学年の時ですが・・・運動会の出し物でフォークダンスがありました。好きな女の子が順番で回ってきて・・・ついに手をつなぐことに  
恥ずかしくて・・・何故か手をしっかり握ることができず、顔も火照ってきて早く終わらないかな！・・・本当は長くそうしていきたい筈なのに動きもぎこちなくなるのです。  
いやはや・・・！今思うとあの頃が懐かしく・・・あの頃の昔の写真を探しているのです。

－初恋－

あの頃は・・・  
あの時のあなたは・・・  
とても可愛かった

笑うと・・・えくぼがかわいい  
僕にむかって  
あなたの瞳が輝いている

僕が笑うと  
あなたも笑った  
懐かしい・・・あの頃

帰路の電車で・・・ある駅でドアが開いたときです。稲刈り跡の野焼きの臭い、午後6時にもなるとすっかり日が落ちて田畑の風景は見えませんが郷愁を誘うのどかな情景が浮かんできます。

チンチンと出発の合図・・・静かに電車が動き出します。

乗客もあまり乗って来ない駅の日曜の夕方  
今年も・・・もう立冬  
・・・淋しくって、人恋しくなる一日です。

－立冬－

この時期になると  
陽の落ちるのも早くなり  
薄手の軽いコートが欲しくなる

ブレザースーツに  
マフラーをまとして  
木枯らし一番も  
冷めた空気も  
頬に心地よく感じられる

冬はもうそこまで  
・・・やってきた  
女性達のファッションも  
華やかさが薄れゆく

でもそれに負けない笑顔が  
とても美しく見える  
好きな季節でもある



命について・・・僕の小学校のときは特殊学級が併設されていました。このため体や精神に障害のある同級生に触れ合うことが多くありました。弱い立場の人たちにはやさしく、子供なりにパーフェクトではないけれどいたわりの心が自然に育まれたものと思います。

今では専門の養護学校に入学されるでしょうけど、このようなふれあいがなくなったこともいたわりの気持ちが欠如するひとつの原因ではないかと考えるこの頃です。

僕の小学校では1年に何度か映画鑑賞があり、貧しい家庭の子達がいじめられる様子や被爆のクラスメイトが白血病で死んでいくストーリーのものがありました。

子供心に命の大切さ、戦争のない世界を課外授業で学んだものです。だから最近のいじめによる悲しいニュースを聞くたびに心が痛みます。

自分が相手の立場だったらどうする？と考えることすら出来なくなって  
いる状況はやはり異常です。何をしても勝てばいい・・・美しい国、愛国心  
を論じる以前の大きな問題です。

Ah こんなことを考えるのは僕だけでしょうか？

いたずらも度をこせば「いじめ」になります。

いたずら好きの僕も気をつけなくてははいけません。

さてさて・・・久しぶりに詩の世界へ行ってきます。

－世界でひとりだけ－

世界に一人しかいないあなた  
生き抜いて幸せになること

あなたより  
早く死んでしまった人の  
分まで長生きすること  
生きていてよかったと

あなたを頼りにしている  
人がいることを  
思い出してほしい

あなたを見守っている  
人がいることを  
いつも知っていてほしい  
あなたは世界でひとりだけ  
あなたは宝物なんだ

—あなたへの想い—

好きなら好きですと  
言葉で言わないと  
相手は分からないよ

食べるだけが  
口ではないよ

でも・・・  
照れくさくって  
そうは簡単には  
言えません

—ありがとう—

ありがとうという言葉  
人間関係を円滑に進める  
・・・魔法の言葉

誰もが共に  
快く感じる  
好きなことばです

感謝を込めて  
なんどでも  
使いましょう

少し昔のことです。

2007年1月1日のニューイヤークンサートを聴きました・・・11年前になります。

1. 行進曲「乾杯！」 作品456 (ヨハン・シュトラウス作曲)
2. ワルツ「調子のいい男」 作品62 (ヨーゼフ・シュトラウス作曲)
3. ポルカ「水車」 作品57 (ヨーゼフ・シュトラウス作曲)
4. 「妖精の踊り」 (ヨーゼフ・ヘルメスベルガー作曲)
5. ワルツ「うわごと」 作品212 (ヨーゼフ・シュトラウス作曲)
6. 「入場のギャロップ」 作品35 (ヨハン・シュトラウス父 作曲)
7. 喜歌劇「くるまば草」 序曲 (ヨハン・シュトラウス作曲)
8. 「イレーネ・ポルカ」 作品113 (ヨーゼフ・シュトラウス作曲)
9. ワルツ「レモンの花咲く所」 作品364 (ヨハン・シュトラウス作曲)
10. ポルカ「ブレーキかけずに」 作品238 (エドゥアルト・シュトラウス作曲)
11. ポルカ「都会と田舎」 作品322 (ヨハン・シュトラウス作曲)
12. 「水夫のポルカ」 作品52 (ヨーゼフ・シュトラウス作曲)
13. ワルツ「ディナミーデン」 作品173 (ヨーゼフ・シュトラウス作曲)
14. 「エルンストの思い出」 作品126 (ヨハン・シュトラウス父 作曲)
15. 「狂乱のギャロップ」 作品114 (ヨハン・シュトラウス父 作曲)

[アンコール]

16. ポルカ「軽い足どり」 (ヨーゼフ・ヘルメスベルガー作曲)
17. ワルツ「美しく青きドナウ」 作品314 (ヨハン・シュトラウス作曲)
18. 「ラデツキー行進曲」 作品228 (ヨハン・シュトラウス父 作曲)

管弦楽：ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

指揮：ズービン・メータ

いつ聴いてもですがウィーン楽友協会大ホールからの中継、とても良かったです。

もちろん今年も聴きました。

—好きな音楽—

心まで弾んで

脳はリラックスし

体は愉快地に

全体が癒やされる

イヤなことは

飛んで行き

都合の悪いことは  
忘れて  
悲しいことは  
消えてしまう

好きな音楽を  
聞いて・・・  
慰められ  
癒やされ  
活力となる

急なことですが自身の著書である「風と愛と君と」が懐かしく感じられるこの頃です。  
帯のところのメッセージが、自己満足にて不思議に気に入っているのです。

風は僕からの無言の愛・・・

愛しいあなたへ そっと私の心を伝えます

誰もが一度は通ったであろう青春という名の

思い出の道を再び歩いてみるのもいいのでは

ないかと思う

これからも頑張って詩作に励もうと思っています。

—風は私です—

あなたの天国にも

風がふいているでしょ

風が私の想いを伝えています

僕の声が聞こえているでしょ

こちらへも天国からの

いろいろな風が

あなたの様子を伝えてくれます

元気そうなので安心しました

僕も近ごろは・・・

天国に行くのを

心待ちにしているのですよ

会える日を楽しみにしています

そのときはよろしくネ

僕の胸に

風が通り過ぎていきました

春はもうそこまで来ています。子供の頃は郊外に足を  
運べばすみれやれんげ畑が目の前に広がって春一色  
でしたが、今はもうその風情はなくなり・・・住宅や舗装  
された道路になっています。

昔の春景色は・・・記憶のなかにしかありませんが、  
瞳を閉じれば今も鮮明に蘇えてくるのです。

—春風にさそわれて—

春風に誘われて  
花見にやって来ました  
芝生の上に座って  
大好きな君と一緒に

弁当をひろげて・・・  
昼時間の陽射しを  
受けて春を感じます

僕と君とのひととき  
このまま静かに・・・  
時は流れていきました

30歳になれば二十歳の気持ちで  
四十になれば30歳の気持ちで  
50歳になれば四十歳の気持ちで  
・・・気持ちだけでも若いほど体も心も自然に若返るのではと思う。

さてさて！みなさん如何でしょうか？頑張ってみましょ  
昔の勤務先で検査管理をしているボイラ設備がありました。何と40年も  
使用していたのです。・・・まだまだ使える代物ですが、残念ながら誰でも  
取り扱うことが出来ず、ついに廃棄となりました。

－歳を重ねれば－

過ぎし日々を  
なつかしく想う  
歳を重ねれば・・・  
過ぎし日々が  
何故か胸を熱くする

あの時は・・・  
あの日は・・・  
その時は・・・  
その日は・・・  
満足のいく日であったり  
悔いる日であったり

でも今になって  
想うことは  
時が静かに  
流れているだけなのです



有名な方々も・・・それまでは、ただの人であった。  
有名になった場合は・・・家族や多くの人の支えがあってこそ今があることを  
思い知るべきだと僕は思っています。

死んでしまえば有名も無名もありません。  
それゆえ今を有意義に過ごさなければならないでしょう！  
戯言はこのあたりで終わりとして、さてさて少し前のことですが、市立図書館  
を久しぶりに訪問してみました。そこで、僕が寄贈した詩集第1集及び第2集  
がどのようになっているのだろうかと思い書籍案内のパソコンに触れてみました。  
何と2作品とも、登録されており、書名及び著者名で検索ができ、どこに収納して  
いるのかが、画面に現われたのです・・・感激いっぱいでした。

### －君のイメージ－

ミニのジーンズパンツに  
へそ出しルック・・・  
上着は刺繍のポイントがある  
黒のタンクトップ

サンダル履きで  
首にはスカーフを着けて  
少し小悪魔的かも・・・  
和服が似合いのきみにしては  
大胆な変身・・・

さあ、きょうは・・・  
何処へ行きましょうか  
まずはディナーをしてから  
考えましょうか・・・  
夢のなかで  
・・・君とのデートです

ああ一歳を重ねるたびに残り少ない僕の青春が消えていく。  
いつ何が起きるか分からないこの世に、今のうちに心に残る  
思い出の1ページを作ってみたいのです。  
それがBlogであったり、人との出会いであったり、ふるさとの情景で  
あったり、詩などの著作であったり、私たちは天国に持っていくものを  
決して忘れてはなりません。

それはお金でもなく、地位や名誉でもなく、生きている今の日常にある  
もの・・・人への思いやりではないでしょうか

切腹など人が死ぬときに残す最期の言葉、時世の句は生きている人々  
を思いやる心が伝わってきます。

訳の分からないことを・・・またまた書いてしまいました！  
何かを書くだけで、何かを伝えるだけで癒されませんか？  
このような自己満足の世界も必要なんでしょうね。  
最近ですが最も怖い夢をみたのです。フレンツエの湖は架空のものです。  
爆弾は・・・原子爆弾？

ーフレンツエの湖ー

フレンツエの湖に  
悪魔の爆弾を落としたのは誰だ  
髪の毛は全て抜け、脳みそが  
涙のように流れ落ちる

お腹からは腸がはみ出して  
湖面を漂っている  
こんな姿にしたのは誰だ

まるでお化けのようになった  
自分をフレンツエの湖が映し出す

こんな僕でも女性にもてたのだぞ  
悪魔の爆弾を落としたのは誰だ  
・・・本当の僕を返せ

このところすぐに息が上がってしまいそうです。  
呼吸器系の病気に罹ってしまうと心までがほんとうに憂鬱になってきます。  
アレルギー性の喘息とCOPD（慢性閉塞性肺疾患）・・・嫌な病名です。  
歩くのも苦痛になってきました。  
肺機能のリハビリをして呼吸が少しでも楽になればと考えています。

ーいっぱい空気がほしいー

普通に歩いているのに  
呼吸が苦しい  
深呼吸をしても息苦しい

金魚が水面で口を開けて  
いるような感じだ  
夜中に息苦しくって  
目が覚める

深呼吸してみる  
ラジオ体操の時の深呼吸は  
気持ちよかった  
この深呼吸は  
ストローで呼吸しているようだ

腹いっぱいに  
空気を吸ってみたい  
それも山の頂上の空気を・・・

めちゃくちゃ・・・めちゃくちゃ暑いです。

このためかどうか分かりませんが軒先に蜂の巣ができました。

樹木の枝を利用して、そーと窓を開け巣をめがけて一撃し庭先へ落下させました。

当然、一撃の後は窓を一瞬のうちに閉める早業を必要としますがこの手法で別の軒先にできた蜂の巣を一撃したのですが、前回より一撃する位置が斜め方向であり距離が遠いため巣を落とさず穴のいっぱいある巣そのものが残ってしまい、そのうちの数匹の蜂が反撃してきました。

とっさに窓を閉めたため蜂は窓ガラスに何度も激突・・・。

すごい数の蜂が巣の穴に集結、羽根音がぶんぶんと騒々しいぐらいです。

1時間ぐらい経過し巣をみると、蜂でいっぱいになっています。

幸いにも蜂は動いてなく・・・レバー式のジェット噴射の殺虫剤（ハエ・ゴキブリ用）にて巣をめがけて噴射、いい感じでした。蜂が残らずいなくなりました。

今度は昆虫採取用の虫網の柄の方を使って再度一撃、完全には除去できませんが蜂の巣を玄関先に落下させました。

これからは定期的に巣が出来ていないかチェックが必要です。

蜂に詳しい人の話ではスズメバチの巣のようです。

そういえばチラシに蜂の巣を除去費用が¥8,000～と書いてあったような気がします。

ーなつかしい日々ー

暑い日は・・・

木陰に涼を求め

寒い日は・・・

陽だまりに身を寄せ

自然のままに

暮らせることが

一番でしょう

でも・・・

この時代では

エヤコンなどの

人工的な方法が

ほとんどでしょう

時代は

大きく変わっています

しかし・・・

昔の非贅沢な生活を

懐かしむのもいい

アウトドアが

好まれるのも

自然の・・・

昔に帰りたい気持ちが

そうさせるのでしょうか

日中は30℃を越えて暑い日が続きますが・・・

でも自宅は2階の窓を開け放って寝ていると心地よく朝夕は肌寒い頃となりました。

そうなのです秋の気配です。この言葉を聞くだけで何故か涼しい心地がしませんか

風鈴の音も・・・秋の風をうけて・・・虫の声も聞こえてきそうです。

そして辺りが薄暗くなってくると・・・ほんとうに虫の音が聞こえてきます。

やっとやっと！いい気候になりつつあります。

ー秋を感じていますー

秋の風は火照った体を

癒やしてくれます

さあーハイキングへ

行きましょう

好きなあなたと

行けるなら

最高の一日になるでしょう

コスモスが

咲き乱れているところで

秋桜が風に揺れると

僕の心も揺らいで

好きな君と・・・

抱き合うことに

秋の風は幸せを

運んでくれるのですね

今から80年前、陸軍病院に勤務していた頃のものと思われる写真発見。  
・・・その後戦地へ従軍することに。

新京（満州！）の陸軍病院での勤務になったようです。  
終戦後は7年間中国に抑留、帰国後は病院勤務の後退職、2001年11月  
死去・・・私たちは現在の平和を大切さをかみしめなくてはなりません。  
さてさて、明日をも知れない命の大切さ、大変な時代を精一杯生きてきた  
伯母の一生から僕も複雑な思いで平和について考えさせられました。  
秋って何故か淋しいです。・・・poemは何故か浮ついて飛んでいます？

－秋の風に乗って－

すっかりいい気候になって・・・  
女性の夏の装いは僕たち男性を  
楽しませてくれたのですが  
女性の上着姿も・・・  
なかなかのものです

暑い季節も過ぎて  
爽やかな季節・・・  
お洒落を楽しむには  
最高の季節でしょ

ちょっぴり淋しい  
センチメンタルなこの季節・・・  
好きな女性と連れだって  
秋の風に乗ってでかけましょう

ミニスカートの裾が  
風にそよいで  
秋の風が語りかけます  
ススキの高原で  
抱擁するのもいいんじゃない  
ほんとうに様になる・・・  
僕の好きな季節です

今までの寒さがうそのように近頃はあったかい日が続いていますが・・・  
11月末の今日は小春日和のような暖かさです。

(注) 小春日和：晩秋から初冬にかけて寒さが厳しくなる中で、穏やかで  
暖かな日和のことである。

こんな日は何故かうきうきした気分になり、若い女性とのデートなんか  
をしたくなってきませんか？

お相手のいない僕は・・・いつものように夢の中を彷徨ったり、妄想の  
世界へ行っちゃうんですが・・・。酒を飲めない、賭け事はしない僕は？  
何をすればいいのか・・・でも本当は暖かくして冬の風に乗っていろいろな  
ところを彷徨いたいのです。

—いつも君のことを—

君の中にある哀れみを  
見つけようとするのですが  
あまりにも可愛い仕草が  
僕の前を・・・  
通り過ぎるだけなのです

君の頸の後ろに手をまわし  
・・・唇を重ねると  
禁断の果実を  
口にしているような  
気がしてならないのです  
いつまでもこうしていたい  
・・・本当に不思議です

こうしてお会いできる  
うれしさに甘えることなく  
いつも君のことを  
愛していただけるように  
したいものですね



僕にとっては時代の波に取り残されないようついて行くのが精一杯  
そして、確かに・・・時代の波のなかに僕がいるのですが！！  
皆さん・・・よろしくお願ひします。

ーみんな大好きですー

君の瞳・・・

君の笑顔・・・

君のすました顔・・・

・・・ベソをかいた顔

君の得意顔・・・

究極の変顔シリーズ？

顔の表情っておもしろい

もっと大好きなのは

・・・君の仕草

ひとつひとつの

行動が滑稽なんです・・・

そして君のみんなが

大好きなんです

あと何十年も生きれる訳がない短い人生・・・本能に逆らわずに生きていくのもいいのではないかと考えることがある。・・・ああーまた夢か??  
またまた・・・変な夢をみてしまったようです。・・・このことを話題にするとまあまあ元気が何よりです。・・・長生きして下さいね!とは誰かさんのコメントです。  
そうそう・・・Kさん(飛鳥圭の名前から・・・Kさんとよく呼ばれるんです)も男なんだ。

話は変わって・・・体の上からはいくらでも着飾ることができても・・・体そのものはこれ以上脱ぐことが出来ない。

それ故に体自身はきれいにして、傷つけることがあってはいけないし・・・

いつまでも若いままの美しい肌を保っていたい・・・男性はともかく女性の場合はなおさらでしょう・・・エステが繁盛するのも頷けよう・・・さてさて、ボクの場合ですがお腹が少し出てきたようです。でも制限体重内だから健康だと思うことに(笑)

ー今の僕は春ですー

好きな女性とほっかほっかの  
いい湯に浸かるのが夢・・・  
そんな日がやってきたんです  
いつも見ている夢でもいいのです

見るだけでも・・・  
シアワセでしょう  
そんな夢も見ないで  
なんて淋しいんだ・・・お前は

そんなことにならないよう  
明日に夢をのせて  
楽しいことが出来るように  
しないといけないでしょ

さあ・・・さあ・・・  
僕は今日から  
好きな女性と温泉に行くんだ  
今の僕にも春がきたんだよ

昔、大阪市内の会社へ勤務してた頃・・・首が痛くてまわらないのです。  
また引き続き肩も痛くなってきたのです。

女医先生から遠いところからこのトートバックを持っているんですか？  
電車や自転車では持ちません、網棚か膝の上に！

軽くした方がいいですよ！

レントゲンをとってみたいましよう！・・・4ポーズ撮影です。

頭を支えている骨が通常カーブしているところ真直ぐになっていて骨の間隔も普通の状態でなく神経を圧迫しているかも、薬で治癒できそうです。  
駄目ならリハビリしましょうということになりました。

正午に薬を飲み1時間後に早くも薬が効き相当楽になりました。

よかった（さすがにいい見立て・・・感激です・・・初めて知ったロキソニン）

ーいい知らせー

不安におののき  
気が滅入ることも  
明日を信じて・・・  
あきらめないで・・・

人ごとのように  
物事を考え・・・  
大丈夫なんだと  
・・・思う気持ちが  
大事なんだよ

前向きに・・・  
明るく考えると  
福の神がやってきて  
いい知らせを  
伝えてくれるのです

IE研究（昔に学習したことなんですが・・・今も立派に通用しますよ！）

IE: Industrial Engineering（インダストリアル エンジニアリング）について

能率向上、生産性向上の手法、管理者がIEを理解して援助する。

管理者自らそのやり方を知って推し進めること。

改善技術：動作分析、時間分析、工程分析などは50年前と手法は・・・何らかわらない。

ワークサンプリング法、PTS法（既設時間標準法、ストップウォッチを使わなくても標準時間を見積もることができる）などがある・・・が経営者のレベルが低くなり・・・グローバル化の波にのまれてしまって・・・目先の利益確保に躍起になりすぎ・・・人間性の重視や尊重が希薄になっていると思うのは僕だけではないはずでしょ！この点では町工場の経営者の方がまだまだレベル的に上でしょうか！ビデオによるメモーションスタディ（ビデオを用いて動作を分析する方法）は無駄な時間を印象的にとらえて改善のヒントをつかむのに効果がある。時間の観測をあとからゆっくり分析できる。集団作業にはお互いの邪魔をしあう様子が分かる等の効果がある。品質の向上と原価の低減が現場管理の基盤である。

何か理屈ばいですネ（笑）これでは休憩にならないですね！

こんなpoemになりました。・・・これは拙い、ほんとうに・・・まずい。

ー春風はいいなあー

春の風は  
まだまだ冷たくって  
でも・・・  
火照ったほっぺに  
風があたると・・・  
愛しい君の  
唇のようです

ほんとうの  
君の唇に  
口づけしたら  
春の香りが  
僕の口の中に  
広がっていくのです



最近なんです、ふーっと考えるのです・・・愛が欠乏してるかも（笑）  
離れていった人、別れても・・・心の中ではまだ別れていない人・・・僕の  
心の中では割り切ることができないモヤモヤがあって・・・そのモヤモヤが  
とてつもない淋しさの大きなうねりとなって・・・僕を襲ってくるのです。  
毎晩毎晩の・・・この繰り返しがたまらないんです。

ああー愛しき乙女たち・・・セニョリーター夢の中でいいから会っておくれ！

現実に出会うことができれば・・・僕の心がパンクして僕は息絶えることにな  
るかも知れないが！会いたい想いやシアワセを希求しては決していけない  
ことではないと思っています。

そして別れは・・・愛の始まりであると・・・僕は信じているんです！

ー未来をつなぐ絆ー

知らない人も  
今日からは友達  
友達未満でも  
仲良くしましょ

明日は今日より  
もっと仲良くなって  
友達以上に  
いや恋人に  
なってるかも・・・

そうなんです  
嫌い嫌いも  
仕事でも  
いつのまにか  
好きから・・・  
大好きに・・・  
変わるんです

10年前?愛しい愛しいOさんに・・・あと少しで会えるんだ!!  
こんな気持ちになったのは何年ぶりなんだろう?  
・・・Kさんがまたまた夢の世界へ行くよ! えっ本当だったりして?  
そうなんだKさんも人が悪い・・・!!  
夢の世界・・・妄想の世界をいい訳にして現実に楽しんでるんだ。  
まあまあ・・・夢の世界にしておきましょう・・・ね  
いさかいを起こしてもつまらないから・・・世界の平和のために  
常に夢の中・・・妄想の中・・・ということにしましょう(笑)  
冗談はさておき・・・Kさんは最近よく夢の中へ出掛けるんですよ!

— 夢見る頃 —

僕の夢見る頃は・・・  
いつだったのか  
今も青春の中にいるから  
何時だったのか  
・・・分からない

でも虚ろながら・・・  
・・・微かな記憶が  
あれは・・・中学生の頃  
いや小学生の頃かも

好きな娘の・・・  
家の周りを  
自転車でまわったことも  
ステキな笑顔に  
会いたくって

家の庭に鶯がやってきました。ちょうど妻が植えた梅の木に止まったのです。  
ホーケキョ・・・ホーケキョ・・・この時期にしてはいい声です。  
まるで妻が呼んでるような気がして・・・声をかけてみると  
どうでしょう・・・こちらへ向かってきて、僕の目の前で「元気にしてる」と  
いい残したような気がしたのです。・・・鶯は上空にむけて飛んで行きました。

梅の木は・・・僕の家では妻が戻ってくるところなんです。  
梅の花はまだ咲いていないのですが、花が咲く頃になると花の香りが僕の心を  
気持ちよくしてくれるのですよ  
例年のことなので・・・天国の妻からの贈り物と思っているのです。

ーもどってきたよー

妻が姿を代えて  
僕の前に現われた  
今年はホトトギスなんだね  
僕に向かって  
飛んできたりして

元気な様子を見て  
また春の空を・・・  
飛んで行くのです

梅の木は何事もなく  
梅の花が咲き  
梅の実がなり・・・  
また次の春を待つのです  
・・・僕と同じだね



前々から童話を書きたいと願っていたので・・・！！  
挑戦してみようかな等など、いろいろ考えているんです。

しかし詩を出版出来たってことは、頑張っって童話もと思っってしまう。  
ジャンルは何であれ出版するってことは何度体験してもわくわくします。  
自己満足の世界かも知れないが、詩人として作品を多く残したいと思ってるから  
紙の書籍でなくても、電子書籍をもどんどん出版しようと思っっています。

－花の精－

愛しき君は花の精になっって  
僕のところに帰っってきたんだね  
僕が華道の道を選んだとき  
庭のチューリップが  
教えてくれたんだよ

初めはそうとは知らず  
花を生けるたびに  
花の精が僕のまわりに  
集まっってくるものだから  
不思議な気がしてたんだ

君は花の精・・・  
発するやさしい香り  
やはり君だったんだね  
ありし日の君が  
花が好きで花の精と友達なのは  
知っっていたんだよ

でも・・・本当だったんだ  
花の精になっただ  
僕が花を生けるたびに  
君は僕のところに  
もどっってくるんだね

好きな女性と会う日が決まっていたりすると・・・その日がなかなか来ないので。幼い頃に・・・指折り数えて楽しい日を待つようなことが起こります。大人の場合でも同様に・・・何故か待ち遠しくってソワソワ！早く会いたいのにな・・・会えないもどかしさ・・・。

なかなか日が過ぎず、一日がとても長いことといたらありません。もうガマンできな～い・・・なのです。ということでこんなポエムになってしまいました。変な詩人です（笑）

ーはやく会いたいー

毎日でも会っていたい  
とっても大好きな君に  
でも・・・そういう訳には  
でも・・・早く会いたい

桜の花が咲く頃に  
君と初めて会って  
また・・・その日が  
やって来たのです

あの時の素敵な笑顔  
手のぬくもり  
そして・・・抱き合った  
あの時のときめきが  
僕の胸に蘇えってくる

めっきり春全開から若葉かおる季節になり、朝は寒かったりして大変！  
またまた夏日になったり、温度差が大きいです。体調管理しっかりしなくちゃ？  
風邪など召ませぬようご自愛下さいネ  
そうそう・・・夢をみてきます・・・。

—いつまでも—

いつまでも  
いつまでも  
君のやさしさに  
癒やされ  
君の色香に酔い  
えっ??

いつの日も  
いつの日も  
君の笑顔が心地よく  
君の仕草が  
可愛くって

いつでも  
いつの日も  
いついつまでも  
君が僕の傍にいて  
僕を愛してくれる  
あぁー  
素敵な乙女達よ

加齢とともに・・・こちらが治れば次はあちら、呼吸が楽になったと思ったら今度は腰痛・・・またやっちゃいました。同じ姿勢も1時間ほどにして休憩でもしないといけないのですが・・・ああ一日頃のなんとやら・・・でしょうネ

歳を考えて遊ばないととは知人のコメントなんですが、Kさんは疲れてるんだ・・・ゆっくり休んだら？

うれしいいたわりの言葉に・・・胸がつまるこの頃なのです！

そんなこんなで現実に思うことは、元気なうちに出来ることをしておかないと僕の最近の口癖になってきました。

思い残すことはしたくないですよネ（笑）・・・でこんなポエムに？

—元気なうちに—

好きなこと

いろいろあるけれど

やはり・・・大好きな

あなたに会いたい

会っているだけで

心が和むのです

ああーこれって

恋なんですか？

現実に？愛し合って

（妄想！）

互いに労わり合って

（夢のなか！）

明日のエネルギーが

湧いてくるのです

さあーさあー

元気なうちに

好きなことを

しませんか

元気がいっぱい

出てきますよ



－明日はね－

今日があるから  
明日があるんだね  
今の君は  
明日も同じ君なんだよね

きょう好きだから  
明日も好きだよ  
でも本当は  
不安なんです

今日愛した君を  
明日も愛してるだろうか  
今日愛してくれた君は  
明日も愛してくれるだろうか

明日はあした  
今日・・・君を愛し  
今日・・・君に愛され  
それでいいんです  
明日はあしたが  
決めてくれるのです

ところで二足歩行はやはり大変なんですね、毎日毎日かなりの重量が足腰にかかっているんですよ、整形は何時も多くのクランケの方々が診察の時間待ちをしており・・・治療を受けるのも一苦勞です。

これからは・・・家の中だけでも・・・動物的に4本足で過ごそうかな（笑）

－見つめられないこと－

じっと見つめて・・・  
いられないものがある  
太陽と・・・愛する人の死

でもこの現実には・・・  
何度もあるわけではなく  
悲しくつらいことだけど

いろいろな体験を  
させてくれるのです  
現実に僕自身を・・・  
大きく成長させてくれた

いつまでも  
いつまでも  
僕の心の中に  
あなたがいるのです  
いつもそう思っています

何故か10年前の事を? ・ ・ 坐骨神経痛なのですが筋肉弛緩・鎮痛剤→神経ブロック  
注射→気功整体→理学療法(牽引・温熱療法)による治療 ・ ・ あの頃は大変だった。  
当時は朝の苦痛はまだ解消されず ・ ・ ・ 悲痛な毎日だったのです。  
こんな事を記事にしたことがありました ・ ・ 懐かしいです。

ーじっと見つめてー

私を見て ・ ・ ・  
私の好きなところを  
じっと見てください

あなたに見つめられると  
なぜか気恥ずかしい  
でも ・ ・ ・  
好きなあなただから  
いいんです

じっと見つめられると  
心の奥まで  
見られているようで  
 ・ ・ ・ 心の中まで  
読まれているようです



好きな女性が綺麗になったら・・・嬉しいものです。  
・・・ますます大好きになってきます。  
最近とても綺麗になったね  
・・・お世辞じゃなく何となく褒めてしまいます。  
褒められて怒る女性は・・・いないでしょうね！  
仲良く・・・いい関係が続くことはいいことです。  
Kさんも素敵ですよ・・・なんて褒められるといいなあ！  
・・・誰も言ってくれる筈がないでしょ（笑）  
そんなことより・・・健康で元気が一番だよ？とは  
知人のコメントなんです！  
歳相応の健康とは・・・少しは体にガタがきてるがどうにか  
元気と言うことなんです・・・  
僕の現在は・・・情けないことなんですがこの程度の健康でも  
いいと思っている今日この頃なんです。

－綺麗になった－

君がきれいになったら  
君にふられちゃうんじゃないかと  
僕はびくびくしています

君がきれいになったら  
他に誰か好きになったのかな  
嫉妬で気が狂いそうです

君がきれいになったら  
自慢したくって  
君を連れまわすかも

でも綺麗にならなくいい  
今までと同じでいい  
今の君が好きだよ

さてさて・・・梅雨が近くにせまってきました？  
相合傘って・・・うーん経験が少ないから・・・何度も体験したいものです。  
指をくわえて・・・うらやましい・・・って言えば実現するだろうか(笑)

ー雨の日はー

小雨時の相合傘は  
傍目には恋人のイメージ  
かるく腕を組んで・・・  
・・・見る方も  
微笑ましく思う

本降りの雨のときは  
小さい傘の中・・・  
自然と抱き合う感じに  
これはもう・・・  
恋人以上の感じです

いいなあ・・・  
・・・雨の日は  
彼女がいるなら・・・  
傘はあっても  
相合傘にしましょ

ますます仲良くなって  
傘をさして・・・  
抱き合ってK i s s なんかも  
さまになります  
恋人っていいなあ

—ある朝—

教会の近くにある  
・・・朝の公園  
子等の声もなく  
雑草も伸びている

汽車の形をした遊具  
そしてお決まりのブランコ  
こんな風景を  
何処かで見た記憶がある

そうなんだ  
少子化と治安の悪化で  
あちこちの公園で  
見る風景なんだ

いつもの  
賑わいのある  
子供等の声で  
騒々しい程にしておくれ  
そんな叫び声が聞こえる  
ある朝の日・・・

可愛くってステキな女性じゃない！  
Kさんの好きな女性の好み分かるわね・・・  
今度Kさんに会ったら・・・とっちめてやろう？  
・・・口止め料で食事を奢ってもらおうかな！  
しょうもないことばかり・・・考えていないで！  
長いこと更新出来てないじゃない！  
出来映えは二の次でいいから・・・早く詩作してね（笑）

ーああー愛しい君よー

さっき会ったばかりなのに  
また会いたくなってくる  
ああー愛しい乙女よ  
また会えれば  
いっぱい愛してもいいですか

ああー愛しい君よ  
昨日のことは  
忘れてはだめだよ  
いつも・・・いつまでも・・・  
君のことを愛してるから

次に会ったときは  
後ろから抱きしめたい  
君の背の温かさを・・・  
この胸にしまっておきたい  
この思いは君だからだよ

10年ほど前に追突されてからか！気のせいか良く後ろに注意しています。  
さてさて・・・大好きな人とのKissは大歓迎なのですが？  
車でのKissはするの、されるのもお断りなのです、・・・追突された方のお話し  
では頸に後遺症が残り大変だった・・・と聞いたことがあります。

今は大丈夫でも後から何らかの苦痛があるかも・・・少しは心配なのですが  
大丈夫でした。そんなことがあって作ったpoemです。

ーKissするのはなぜー

好きだからだよ  
好きでもないのに  
・・・Kissはしないよ  
好きだから・・・Kissをしよう

夢の中でのKiss  
・・・なかなかステキで  
たぶん・・・嬉しそうに  
笑っているよ

寝顔を誰かが  
見ていたら  
きっと大笑いだよ

目覚めたあと  
・・・みんなの前で  
笑いの種にされちゃう

でも・・・とっても好きな  
女性だからいいんだよ

—あなたに会って—

あなたに会って・・・  
あなたの笑顔と語らい  
あなたの思いやり  
あなたの従順な気持ち

数えられない・・・  
あなたの良いところ  
僕だけが思っているのかも

いけませんか？でも・・・  
あなたに会ってから  
何故か楽しいのです

昔ですが仕事をしているとき？自分自身がしっかりと与えられた役割を  
することが大切ですよね・・・頑張ってくださいよ！  
Kさんもカッカとこないで・・・若い女性とでも楽しんでいらっしやいよ！  
長生きするわよ・・・でも、資金が乏しいから夢の中を彷徨うことにするよ！

－土曜出勤－

金曜日と比べ  
なんて静かなんだ  
久し振りの土曜出勤  
街の中も  
何故か落ち着いた  
ゆとりの風情が漂う

そういえば電車も  
空いていて・・・  
ゆったりしてるし  
乗客の女性らは  
きれいな方ばかり

ああー仕事かと  
ため息が出てしまう  
こんな素敵な土曜日は  
やはり好きな女性と  
映画でも行きたいですね  
イタリア料理の  
ディナーもいいですよ

こんな詩を書くって・・・恋愛中だったのかな？  
何故かなぜか思い出せないでいます。

－素敵な時間をありがとう－

大好きな君を  
いつものように抱きしめると  
君のやさしい香りが  
僕の胸の中に届くのです

そして君の鼓動も  
ドキドキとなって  
僕の心に伝わってきます

会いたかったですよ  
・・・鼓動が言葉の  
代わりになるなんて

今日の君は・・・  
ますます可愛くって  
おまけに元気な顔も見られて  
僕はうれしいよ・・・  
今日は本当にありがとう



眼をつぶってご覧？・・・好きな女性が現われてくるでしょう？  
集中して瞑想するとホント・・・好きな女性の顔がはっきりして  
くるようです。まあまあ・・・ありもしないことに熱中しないで(笑)

－紅葉－

秋色の香りは  
君との・・・  
出会いです

落ちた紅葉も  
色あせることなく  
いつまでも  
いつまでも

君との熱き  
思い出を・・・  
伝えているのですね

—初夢は淡い恋—

恋によって長生きし  
恋に悩んで気も若くなり  
素敵な女性と  
恋をすれば・・・

会いたいばかりに  
健康もよくなって  
もう・・・  
元気になってるんです

初夢は淡い恋でも  
青春にもどるって  
体も若くなって  
心も若くなる

ああ—  
初夢は淡い恋なんです

冬来たりなば春遠からじ・・・早春賦

♪春は名のみ風の寒さや♪

暖を止めた布団のなかのかすかな暖かさを愛おしく  
思うこの頃なのです。

大好きな女性を抱きしめた時の暖かさを三つ三つ  
思い出してしまいませんか？

過去にもどって・・・愛した女性の面影を胸に秘めて  
詩を書くのもいいものです！

冬が来ればお試してください

—お元気ですか—

そちらは如何ですか

やはり僕と同じで

春を待ちわびてますか

本当に20数年の

長い間・・・ご無沙汰です

土産話も沢山あります

こちらは皆さん

元気ですよ

元気がないのは

僕ぐらい・・・

天国へはもうすぐ

いけるのかな！

もう少しこちらで

頑張りますよ

見守ってくださいね

♪春が来た春が来た何処に来た♪・・・過去によく口ずさんだ唄  
ですが・・・歌ってみるとシアワセな気分になりませんか？  
さてさて本題にいけます。

ー春にむかってー

厳しい冬を耐えてきた  
長い冬も終わり  
春はもうそこまできています

長い就職活動  
春はもうすぐです

辛かった受験勉強  
春は目の前です

長かった闘病生活  
退院できる春だよ

頑張ったみんなには  
ご褒美が待っていますよ

さあー春はこれから  
さあー春にむかって  
思いっきり飛び出そうよ

春は幸せ模様  
装いも軽やかに  
身も軽くなって  
空を飛んでいこうよ

腰痛が出て2008年と2009年？の頃をふと思い出しました。  
当時は生駒と吹田の2度の実践説明会より激痛がなくなり、ほぼ完治した  
と大喜びしてた頃を懐かしく思い出します。

幸い当時の激痛に比べればギックリ腰になりそうな気配と少しの痛みで  
大したことはないようですが、用心しないといけない状態です。  
と言う訳で腰への負担を少なくし、腰痛緩衝法を再度実施しなくてはと思う  
この頃です。ところでリストは何処にしまったかな？  
・ ・ 皆さんも腰痛にはご用心下さいね（笑）

－はる春・爛漫－

僕の好きな彼女は・ ・  
上は薄手の白っぽいカーデガン・ ・  
ボトムスは黒のショートパンツに生足

ふわふわスカートの君は  
黒のニーソにブーツ  
トップは薄いグレーのTシャツ

日中は少し汗ばむ陽気  
春を過ぎたばかりなのに  
・ ・ 早や初夏のよう  
心も背伸びしてうきうき気分

こんなときは・ ・  
恋が花咲くのです  
僕も軽やか装いで  
街へ出かけることにします

肺がんの手術をした友人がいて今もハンサムでした。  
命に関わる病気を持っていると若く見られるのかもしれませんが。  
女性の場合は美人薄命っていいですよね・・・何！全然違うって？！  
小さい頃、美人ははくめい・・・パンツはいてないのって勘違いして  
いましたから（笑）  
温度差のある気候で着る物の選択も大変、体調管理をしっかりしなきゃ  
皆様も体調に注意なさって、ご健康でありますように！

－春の夢－

嗚呼～懐かしき日々よ・・・  
春の色は・・・瞳にやさしく  
顔までも自然に笑みがでる

春の香りは・・・遥か昔の  
郷愁を思い起こし

春の声は  
愛する女性からの  
ラブコールに聞こえ

春の音は  
青春への誘い（いざない）  
音を辿って行くと  
そこには今までに  
見たこともない  
幻想の世界が  
現れるのです

そうなんです  
夢が現実に・・・  
そんな錯覚さえ覚えます

今・・・夢の中にいます  
想像したことが形になって

幸せがいっぱいなんです

このまま・・・そのまま

夢なら・・・

覚めないで

・・・お願いだから

何度も同じ夢をみて・・・また同じ夢かあ～  
しかも登場する女性も同じだし・・・まるで恋人いや愛人のよう  
そして出てくる場面もまた同じという訳で こんな詩が出来ましたが  
皆さんも同じようなことはありませんか？

—いつまでも傍にいて—

嗚呼～愛しい養女よ  
理由もなく愛しては  
いけませんか

僕を虜にした君へ  
いつまでも傍にいて欲しい  
嗚呼～愛しい君を  
養女と呼ばせてください

僕の・・・愛人だなんて  
何故かときめく・・・  
怪しくせに  
一度は使ってみたい言葉

嗚呼～養女よ  
愛しい養女よ  
いつまでもいつまでも  
僕の傍にいて・・・  
家族同様・・・  
大切な人だから



夏があっさりすると、もう暦も7月になったような気がしてしまいます。  
ってことでこんな詩になりましたが？

—初夏の香り—

汗ばむ季節・・・  
服装も薄手の物となり  
風になびく様は  
風鈴がそよいでいるよう

音は出ないが  
涼感は十分・・・  
また・・・女性の美しさが  
際立つ季節です

扇風機やエアコンに付けた  
リボンが揺れてるのと同じ  
眼にも涼しさが  
・・・伝わってきます

この季節・・・  
若葉が鮮やかで眩しい  
そして若葉の香りが  
心地よいのです

新しい年に新たな目標に向かって巣立つ方たちへ何かを伝えなくては？  
イマイチの詩になりましたが、ささやかな気持ちとして！・・・詩を贈ります。

ー明日（あした）へー

明日への道は・・・  
楽じゃないかも  
知れないけれど  
強い心でいよう

夢をもって進めば  
自ずと道は開け  
太陽があなたに向かって  
輝いてくれます

人はひとりでは  
生きていけないけれど  
誰かが  
いつも見守ってくれている  
生きるって素晴らしい

明日のことは・・・  
思い悩まずにいよう  
あしたは楽しいことが  
待っている明日なのです

僕の家庭に咲いているさざんかの花は積もった  
雪の中から顔を出し・・・寒いですね？と声をかけてくれます。  
・・・花の精でしょうね・・・きっと  
いまから行ってきますね・・・いってらっしゃい  
そんなことあり得ないと皆さん思うでしょうが、花の精とお友達になると何処から  
ともなく声が聞こえて・・・在りし日の大切な人が一瞬ですが現れたりします。  
おいおい本当かよって言わないで下さいね、今・・・夢のいいところなのだから（笑）  
彷徨える詩人らしさが出てきました！

－花の精と－

耳を済ませてごらん  
花が何か喋ってる・・・？  
好きなあなたにだけ  
語りかけてるんだよ

耳を澄ましてごらん  
これから雪道を歩きませんか  
本当だ  
話しかけてきたよ

冷たい風も  
花に触れると  
暖かくなって  
まとわりついてきます

そんな時に出くわすと  
まわりが急に春になって  
近くにある花も一斉に  
雪の間から  
顔を出してきます

みんな春が  
待ちどうしいのですね

卒業や人事異動などでは悲しい別れもあります。  
そして・・・新年度からは新しい出会いが始まります。  
これを励みに！・・・頑張って詩作に励みますね（笑）

ー泣いてくれますかー

僕がもし病魔に  
冒され・・・死ぬのなら  
あなたは悲しんで  
くれますか

寒い季節でも  
大好きな秋桜の花を  
一輪でいいから  
手向けてくれますか

愛する人の死を  
見守るって  
耐えられないこと  
でも最後の別れを  
してくれますか

僕の死を悲しんで  
あなたは泣いて  
くれますか  
こんな僕ですが  
あなたの涙を  
僕にくれますか

僕のように喘息など肺に疾患がある方はもちろん花粉症の方も季節の  
変わり目ですので・・・ご用心なさってください。

さてさて・・・手と口は元気ですから詩作はこれからも続けていきますね！

ー永久（とわ）にー

じっと・・・  
見つめておれない  
ものがある

太陽と・・・  
愛する人の死・・・

涙して別れた日を  
僕は決して忘れない

天国に・・・  
召された君の  
ありし日の姿を・・・

僕は今も  
思い続けて  
いるのです

— 恋は良薬 —

幾つになっても  
恋はしていたい  
新しい血が生まれ  
若い力がみなぎる

そうなんだ  
恋は病を癒し  
恋は良薬・・・  
恋はスイート？

甘い口づけは  
まるでプリンを  
口にしたような

舌を口に含むと  
つるりん・・・とした  
甘美な禁断の味  
ああ～  
恋は良薬・・・かな

これからの季節・・・いろんな場面で紫陽花の花を見かけます！

花言葉は・・・一般的には「移り気」他に「高慢」「辛抱強い愛情」「元気な女性」「あなたは美しいが冷淡だ」「無情」「浮気」「自慢家」「変節」「あなたは冷たい」など・・・多くの花言葉があります。でも僕がチョイスすると「辛抱強い愛情」「元気な女性」が今の君にピッタリです。

あじさいは、咲き初めから咲ききってしまうまでに、少しずつ色を変えます。また咲ききってから花びらを散らしもしないで、色を失うまでじっと何かに耐えている感じ。

ああ～愛しすぎます（感激で胸がいっぱい・・・）、あたかも、少女から娘に、そして女に、女から母に、白髪のおばあさんにと、生きる女性の姿を表わしてるみたい。

花言葉を知ってから花を見るとまた違った趣となりいいものですね！

—花言葉—

愛しい君には  
ひたむきな  
辛抱強い愛情  
・・・が良く似合う

元気で  
・・・少しの茶目っ気  
明るくって  
従順な女性

こんな女性って  
いいお嫁さんに  
なるって思う

いつまでも  
今のままで  
素敵な女性で  
いてくださいね

暑くなってくると今年は大丈夫だろうか？

何時ぞやのことです。

猛暑続きで、駅のホームに下りると熱気で気を失いそうです。

こうも暑いと女性の服装も薄くなって・・・暑さと色気で！

僕はもう駄目です・・・目の前がくらくらします（笑）

しっかりして・・・女性の声でやっと目覚めました

男の人の無粋な声でなくてよかった。

おまえ・・・喧嘩売ってんのか？

まあまあ・・・男性のみなさん・・・許してください！

何はともあれ・・・暑いですが・・・暑中お見舞い申し上げます。

—愛しきこと—

愛しい君を

後ろから

抱きしめたら

甘い香りがして

このまま

抱きしめていると

君の鼓動が

高鳴ってくる

向かい合うと

どちらからともなく

強く抱き合って

いるのです



## E p i l o g u e

この詩集：夢は遥か彼方へはいい夢をみたいみたいと念じているのに遠くへ消えてしまうようで少し寂しい気もしているのです。  
現実に夢のようであって欲しいところでは絶対にありえない厳しさを感じるのですが！あまりにも精根を使って集中したところで、何も報われないうことは世の常なのにどうしても期待のほうが大きかったりするものです。

僕は実際はそうじゃなくって、何も期待しないところにそれ以上の夢が天から降ってくるような、言い方を変えれば「棚から牡丹餅」的なことが大好きだから、気持ちでは夢は必ず実現するというようなポジティブ思考で詩を作るようにしているのです。でもまだまだ未熟故に人が満足できるような詩が出来ていないと反省しています。

しかし曲りなりにでもこうして、第3集からの短い期間に第4集の詩集が完成した事を嬉しく思っています。

詩作の旅というか詩作旅行というか、実家での創作や編集っていろんなトラブルもあるのですが、自宅と違って意外とスムーズに事が運ぶのです。

詩の前にいろいろなEピロードや詩を思いついたコメントを掲載している部分がありますが、今までと違った試みです。楽しんでいただければと思います。

最後に電子書籍として詩集出版の場を提供下さったPUBOO様そして暖かい激励といろいろと応援下さった知人、友人、諸先輩方の皆さんに感謝申し上げます。

讃岐富士の見ゆる町にて

2018年5月20日 飛鳥

## 夢は遙か彼方へ

<http://p.booklog.jp/book/121935>

著者：飛鳥圭

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/sanbika21/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/121854>

電子書籍プラットフォーム：パブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト

### (付記)

飛鳥 圭に関する詩集の出版履歴など

1991. 7 憧れと愛を求めて 発行：朝日カルチャーセンター

1994. 3 詩集：風と愛と君と 発行：日本図書刊行会

発売：近代文芸社

### 電子書籍

2018. 5 明日の夢時計 発行：パブー（第3集の執筆完成）

2018. 5 憧れと愛を求めて 発行：パブー（再版の編集、執筆完成）

2018. 5 夢は遙か彼方へ 発行：パブー（第4集の執筆完成）

2018. 5 風の旅人 執筆中 発行：パブー予定（第5集）

### 初の小説

2018. 5 追想の日々（上） 発行：パブー（執筆完成）

2018. 5 追想の日々（下） 発行：パブー（5月18日執筆完成）